

# 学校図書館教育全体計画

## 学校の教育目標

上二の子どもは やり通す

日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
学校図書館法  
学習指導要領  
子どもの読書活動の  
推進に関する法律  
区の施策「読書科」

・児童の実態  
・保護者の願い  
・地域の実態  
・教職員の願い  
・情報活用能力の  
育成

## 学校図書館教育の目標

人間性豊かで、自ら進んで本とふれる児童の育成  
本を読み楽しみを感じ取れる児童の育成  
本や資料を通じて学ぶ喜びを感じ取れる児童の育成

## 各学年の目標

	学校図書館の活用指導	読書指導
第1学年・第2学年	・学校図書館に親しみ、利用の仕方の基本的な知識・技能・態度を培い、読みたい資料を探して活用できるようにする。	・易しい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。
第3学年・第4学年	・進んで学校図書館を利用する態度を培い、課題解決のために関係のある本や資料を探して活用できるようにする。	・いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。
第5学年・第6学年	・目的に応じて学校図書館を適切に活用する態度を培い、課題解決のために関係のある本や資料を探して必要な情報を読み取り、まとめて伝えられるようにする。	・適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。

## 日常的な取り組み

### 各教科・総合的な学習の時間

- 各教科の目標を達成する中で、課題解決学習等の学習の場・総合的な学習の場としての学校図書館の意義を踏まえ、積極的、意図的に図書館学習を取り入れる。
- 読書を通して、学習内容を定着させたり深めたりする力を育てる。
- 自分で図書や資料を探し集め、それを利用して課題解決し、伝えられる力を育てる。

### 道徳

- 図書を通して、自分と違う考えを尊重したり、自主的に正しい判断ができるようにしたりして、豊かな心情とともに道徳的判断力や実践力を育てる。

### 特別活動

- 学校図書館のしくみや利用の仕方の理解を通して、学校図書館を積極的に活用する態度を育てる。

### 地域・家庭との連携

- 読書ボランティア、図書ボランティア活動の継続と連携を図る。
- 学級での呼びかけや推薦図書の紹介などで読書について家庭への啓発を行い、読書の習慣化を図る。

### 読書科

- 朝読書と読書活動を通して読書に親しみ、読書の習慣化を図る。
- 教員、児童、家庭の「読みたい本」「読ませたい本」を揃えるなどして、図書の内容、種類を充実させる。

学校図書館の目的	学校図書館の利用者	学校図書館資料	学校図書館の機能
○教育課程の展開に寄与 ○児童に健全な教養を身に付けさせる	○児童 ○教員	○図書 ○視聴覚の教材 ○その他学校教育に必要な資料	○読書センター ○学習センター ○情報センター